



グリコペプチド系抗生物質製剤
劇薬、処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

注射用**タゴシッド**[®] 200mg

テイコプラニン製剤 ●薬価基準収載 (略号:TEIC)

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【原則禁忌(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)】

1. アミノグリコシド系抗生物質、ペプチド系抗生物質又はバンコマイシン類に対し過敏症の既往歴のある患者
2. アミノグリコシド系抗生物質、ペプチド系抗生物質又はバンコマイシン類による難聴又はその他の難聴のある患者

製造販売：**サノフィ株式会社**

〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

サノフィ株式会社

詳しくは製品情報
サイトをご覧ください。

投与方法 成人



★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」等の詳細は製品添付文書をご覧ください。

成人における注射用タゴシッド200mgの用法及び用量

通常、成人にはテイコブラニンとして初日400mg(力価)又は800mg(力価)を2回に分け、以後1日1回200mg(力価)又は400mg(力価)を30分以上かけて点滴静注する。敗血症には、初日800mg(力価)を2回に分け、以後1日1回400mg(力価)を30分以上かけて点滴静注する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

1 投与間隔で調節する場合

■ 維持量400mgの場合

腎機能障害度 (mL/min)	投与開始	初日		2日目		3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目～
		朝	夕	朝	夕							
正常 (Cr>60)	朝スタート	400mg	400mg	400mg		400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	1日1回 400mg
	夕スタート		400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	400mg	
$60 \geq \text{Cr} > 40$	3日間以上 上記に同じ	朝スタート	400mg	400mg		400mg	休	400mg	休	400mg	休	2日に1回 400mg
$40 \geq \text{Cr} > 10$		夕スタート		400mg	400mg	400mg	休	休	400mg	休	休	3日に1回 400mg
$10 \geq \text{Cr}$ 血液透析患者 腹膜透析患者		夕スタート		400mg	400mg	400mg	400mg	休	休	休	休	400mg

■ 維持量200mgの場合

腎機能障害度 (mL/min)	投与開始	初日		2日目		3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目～
		朝	夕	朝	夕							
正常 (Cr>60)	朝スタート	200mg	200mg	200mg		200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	1日1回 200mg
	夕スタート		200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	200mg	
$60 \geq \text{Cr} > 40$	3日間以上 上記に同じ	朝スタート	200mg	200mg		200mg	休	200mg	休	200mg	休	2日に1回 200mg
$40 \geq \text{Cr} > 10$		夕スタート		200mg	200mg	200mg	休	休	200mg	休	休	3日に1回 200mg
$10 \geq \text{Cr}$ 血液透析患者 腹膜透析患者		夕スタート		200mg	200mg	200mg	200mg	休	休	休	休	200mg

〈用法及び用量に関連する使用上の注意〉(抜粋)

(2) 腎障害のある患者には、投与量を減するか、投与間隔をあけて使用すること。〔9. その他の注意〕、【薬物動態】の項参照〕

【使用上の注意】(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)(抜粋)

(1) 腎障害のある患者〔排泄が遅延し、蓄積するため、血中濃度をモニタリングするなど慎重に投与すること。〕

9. その他の注意(抜粋)

(2) 腎機能障害患者への投与方法(抜粋) 本剤は主として腎臓から排泄され、腎機能障害患者では腎機能正常者よりも血中半減期が延長するので、投与量を調節して使用する必要がある。


成人における注射用タゴシッド200mgの用法及び用量

通常、成人にはテイコブラニンとして初日400mg(力価)又は800mg(力価)を2回に分け、以後1日1回200mg(力価)又は400mg(力価)を30分以上かけて点滴静注する。敗血症には、初日800mg(力価)を2回に分け、以後1日1回400mg(力価)を30分以上かけて点滴静注する。












なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

2 投与量で調節する場合

■ 維持量400mgの場合

腎機能障害度 (mL/min)	投与開始	初日		2日目		3日目	4日目~
		朝	夕	朝	夕		
正常 (Ccr>60)	朝 スタート	 400mg	 400mg	 400mg		 400mg	 1日1回 400mg
	夕 スタート		 400mg	 400mg	 400mg	 400mg	
60≥Ccr>40	3日間以上記 に同じ	朝 スタート	 400mg	 400mg	 400mg	 400mg	 1/2 1日1回 200mg
40≥Ccr>10				 400mg	 400mg	 400mg	 400mg
10≥Ccr 血液透析患者 腹膜透析患者		夕 スタート		 400mg	 400mg	 400mg	 400mg

■ 維持量200mgの場合

腎機能障害度 (mL/min)	投与開始	初日		2日目		3日目	4日目~
		朝	夕	朝	夕		
正常 (Ccr>60)	朝 スタート	 200mg	 200mg	 200mg		 200mg	 1日1回 200mg
	夕 スタート		 200mg	 200mg	 200mg	 200mg	
60≥Ccr>40	3日間以上記 に同じ	朝 スタート	 200mg	 200mg	 200mg	 200mg	 1/2 1日1回 100mg
40≥Ccr>10				 200mg	 200mg	 200mg	 200mg
10≥Ccr 血液透析患者 腹膜透析患者		夕 スタート		 200mg	 200mg	 200mg	 200mg

〈用法及び用量に関連する使用上の注意〉(抜粋)

(2) 腎障害のある患者には、投与量を減するか、投与間隔をあけて使用すること。【9. その他の注意】、【薬物動態】の項参照】

【使用上の注意】(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)(抜粋)

(1) 腎障害のある患者【排泄が遅延し、蓄積するため、血中濃度をモニタリングするなど慎重に投与すること。】

9. その他の注意(抜粋)

(2) 腎機能障害患者への投与方法(抜粋) 本剤は主として腎臓から排泄され、腎機能障害患者では腎機能正常者よりも血中半減期が延長するので、投与量を調節して使用する必要がある。

● Cockcroft & Gault の推定式で算出

Cr_c **男性** = (140 - 年齢) × 体重 / (Scr × 72)

単位 Cr_c: mL/min, Scr: mg/dL

正常 (Cr_c > 60) 60 ≥ Cr_c > 40 40 ≥ Cr_c > 10

Scr	年齢 体重	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
		40kg	102	93	83	74	65
0.6	50kg	127	116	104	93	81	69
	60kg	153	139	125	111	97	83
	70kg	178	162	146	130	113	97
	80kg	204	185	167	148	130	111
	40kg	76	69	63	56	49	42
0.8	50kg	95	87	78	69	61	52
	60kg	115	104	94	83	73	63
	70kg	134	122	109	97	85	73
	80kg	153	139	125	111	97	83
	40kg	61	56	50	44	39	33
1.0	50kg	76	69	63	56	49	42
	60kg	92	83	75	67	58	50
	70kg	107	97	88	78	68	58
	80kg	122	111	100	89	78	67
	40kg	51	46	42	37	32	28
1.2	50kg	64	58	52	46	41	35
	60kg	76	69	63	56	49	42
	70kg	89	81	73	65	57	49
	80kg	102	93	83	74	65	56
	40kg	44	40	36	32	28	24
1.4	50kg	55	50	45	40	35	30
	60kg	65	60	54	48	42	36
	70kg	76	69	63	56	49	42
	80kg	87	79	71	63	56	48

Scr	年齢 体重	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
		40kg	38	35	31	28	24
1.6	50kg	48	43	39	35	30	26
	60kg	57	52	47	42	36	31
	70kg	67	61	55	49	43	36
	80kg	76	69	63	56	49	42
	40kg	34	31	28	25	22	19
1.8	50kg	42	39	35	31	27	23
	60kg	51	46	42	37	32	28
	70kg	59	54	49	43	38	32
	80kg	68	62	56	49	43	37
	40kg	31	28	25	22	19	17
2.0	50kg	38	35	31	28	24	21
	60kg	46	42	38	33	29	25
	70kg	53	49	44	39	34	29
	80kg	61	56	50	44	39	33
	40kg	28	25	23	20	18	15
2.2	50kg	35	32	28	25	22	19
	60kg	42	38	34	30	27	23
	70kg	49	44	40	35	31	27
	80kg	56	51	45	40	35	30
	40kg	25	23	21	19	16	14
2.4	50kg	32	29	26	23	20	17
	60kg	38	35	31	28	24	21
	70kg	45	41	36	32	28	24
	80kg	51	46	42	37	32	28



● Cockcroft & Gault の推定式で算出

$$\text{Scr} \text{ 女性} = (140 - \text{年齢}) \times \text{体重} / (\text{Scr} \times 72) \times 0.85$$

単位 Ccr : mL/min, Scr : mg/dL

□ 正常 (Ccr > 60) □ 60 ≥ Ccr > 40 □ 40 ≥ Ccr > 10

Scr	年齢						
	体重	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
0.6	40kg	87	79	71	63	55	47
	50kg	108	98	89	79	69	59
	60kg	130	118	106	94	83	71
	70kg	152	138	124	110	96	83
	80kg	173	157	142	126	110	94
0.8	40kg	65	59	53	47	41	35
	50kg	81	74	66	59	52	44
	60kg	97	89	80	71	62	53
	70kg	114	103	93	83	72	62
	80kg	130	118	106	94	83	71
1.0	40kg	52	47	43	38	33	28
	50kg	65	59	53	47	41	35
	60kg	78	71	64	57	50	43
	70kg	91	83	74	66	58	50
	80kg	104	94	85	76	66	57
1.2	40kg	43	39	35	31	28	24
	50kg	54	49	44	39	34	30
	60kg	65	59	53	47	41	35
	70kg	76	69	62	55	48	41
	80kg	87	79	71	63	55	47
1.4	40kg	37	34	30	27	24	20
	50kg	46	42	38	34	30	25
	60kg	56	51	46	40	35	30
	70kg	65	59	53	47	41	35
	80kg	74	67	61	54	47	40

Scr	年齢						
	体重	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
1.6	40kg	32	30	27	24	21	18
	50kg	41	37	33	30	26	22
	60kg	49	44	40	35	31	27
	70kg	57	52	46	41	36	31
	80kg	65	59	53	47	41	35
1.8	40kg	29	26	24	21	18	16
	50kg	36	33	30	26	23	20
	60kg	43	39	35	31	28	24
	70kg	51	46	41	37	32	28
	80kg	58	52	47	42	37	31
2.0	40kg	26	24	21	19	17	14
	50kg	32	30	27	24	21	18
	60kg	39	35	32	28	25	21
	70kg	45	41	37	33	29	25
	80kg	52	47	43	38	33	28
2.2	40kg	24	21	19	17	15	13
	50kg	30	27	24	21	19	16
	60kg	35	32	29	26	23	19
	70kg	41	38	34	30	26	23
	80kg	47	43	39	34	30	26
2.4	40kg	22	20	18	16	14	12
	50kg	27	25	22	20	17	15
	60kg	32	30	27	24	21	18
	70kg	38	34	31	28	24	21
	80kg	43	39	35	31	28	24

小児・新生児における 注射用タゴシッド200mgの用法及び用量

通常、乳児、幼児又は小児にはテイコプラニンとして10mg(力価)/kgを12時間間隔で3回、以後6~10mg(力価)/kg(敗血症などの重症感染症では10mg(力価)/kg)を24時間ごとに30分以上かけて点滴静注する。

また、新生児(低出生体重児を含む)にはテイコプラニンとして初回のみ16mg(力価)/kgを、以後8mg(力価)/kgを24時間ごとに30分以上かけて点滴静注する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)(抜粋)
(4) 低出生体重児、新生児〔「7. 小児等への投与」]、【薬物動態】の項参照〕
7. 小児等への投与
腎の発達段階にあるため、特に低出生体重児、新生児においては血中濃度の半減期が延長し高い血中濃度が長時間持続するおそれがあるので、原則として初期負荷用量(小児では10mg/kg12時間間隔3回、新生児では16mg/kg)投与終了後の次回投与と開始前のトラフ値及びその後1週間間隔でトラフ値の血中濃度をモニタリングするなど、慎重に投与すること。【薬物動態】の項参照〕
8. 適用上の注意(抜粋)
(1) 調製方法(抜粋) 新生児、乳児、幼児及び小児においては、注射用水又は生理食塩液5mLを加えた溶解液から投与量相当分を採取し、生理食塩液等にて適宜希釈して調製する。

体重別1回投与量早見表

■ 新生児(低出生体重児を含む)

体重(kg)	初日		2日目以降 [24時間ごとに投与]	
	投与量(mg)	採取液量 ^(注) (mL)	投与量(mg)	採取液量 ^(注) (mL)
1	16	0.4	8	0.2
1.5	24	0.6	12	0.3
2	32	0.8	16	0.4
2.5	40	1	20	0.5
3	48	1.2	24	0.6
3.5	56	1.4	28	0.7
4	64	1.6	32	0.8
4.5	72	1.8	36	0.9
5	80	2	40	1

■ 小児(乳児、幼児を含む)

体重(kg)	初期 [12時間ごとに3回投与]			48時間以降 [24時間ごとに投与]	
	投与量(mg)	採取液量 ^(注) (mL)	投与量(mg)	採取液量 ^(注) (mL)	
3	30	0.75	18~30	0.45~0.75	
5	50	1.25	30~50	0.75~1.25	
10	100	2.5	60~100	1.5~2.5	
15	150	3.75	90~150	2.25~3.75	
20	200	5	120~200	3~5	
25	250	6.25	150~250	3.75~6.25	
30	300	7.5	180~300	4.5~7.5	
35	350	8.75	210~350	5.25~8.75	
40	400	10	240~400	6~10	

青字の数値は敗血症などの重症感染症での投与量

注) 本剤1バイアル[200mg(力価)]に注射用水又は生理食塩液5mLで溶解した場合の採取液量(mL)